

平成 18 年 3 月 1 3 日

各 位

東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目 7 番 6 号  
株式会社モスインSTITUTE  
代表取締役社長 林 一郎

(コード番号：2316)

問い合わせ先 経 営 管 理 部

T E L 0 3 - 5 6 2 3 - 7 2 3 1

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 9 月 22 日の決算発表時に公表した平成 18 年 7 月期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 18 年 7 月期中間業績予想数値の修正 (平成 17 年 8 月 1 日～平成 18 年 1 月 31 日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	1 9 3	△ 6 5	△ 1 1 0
今回修正予想 (B)	2 1 7	△ 2 3 7	△ 2 8 6
増減額 (B - A)	2 4	△ 1 7 2	△ 1 7 6
増減率 ( % )	1 2. 4	—	—
前期 (平成 17 年 7 月期中間) 実績	2 2 1	△ 9 9 5	△ 1, 5 0 2

#### 2. 平成 18 年 7 月期中間連結業績予想数値の修正 (平成 17 年 8 月 1 日～平成 18 年 1 月 31 日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	4 0 9	△ 6 2	△ 1 1 7
今回修正予想 (B)	4 7 1	△ 2 2 5	△ 2 7 3
増減額 (B - A)	6 2	△ 1 6 3	△ 1 5 6
増減率 ( % )	1 5. 1	—	—
前期 (平成 17 年 7 月期中間) 実績	2 2 3	△ 1, 0 0 3	△ 1, 5 0 8

3. 平成 18 年 7 月期通期業績予想数値の修正（平成 17 年 8 月 1 日～平成 18 年 7 月 31 日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	396	30	△19
今回修正予想（B）	517	△320	△324
増減額（B－A）	121	△350	△305
増減率（％）	30.5	—	—
前期（平成 17 年 7 月期）実績	515	△1,438	△2,246

4. 平成 18 年 7 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 17 年 8 月 1 日～平成 18 年 7 月 31 日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	955	106	1
今回修正予想（B）	1,062	△221	△245
増減額（B－A）	107	△327	△246
増減率（％）	11.2	—	—
前期（平成 17 年 7 月期）実績	624	△1,460	△2,274

修正の理由

当中間期及び通期の業績

売上高につきましては、単体では当社独自開発システムである CLASSY の受注件数が徐々にではありま  
すが増加し、また Classy をベースとした新しい WEB 技術を活用した症例登録業務、さらにはそれに付随  
する薬剤割付業務の受注が拡大したために、当初の見込みを上回る結果となりました。さらに連結では  
前期買収したコスメックスが売上、利益面で大幅に当グループに寄与致しました。

また、経費面では、賃借料、外注費等のあらゆる経費の見直し及び人的コストの軽減により大幅な経  
費削減を進めてまいりました。しかしながら当初計画に届かなかったこと及び経費削減の一環として実  
施いたしました本店移転に係る費用およびデータセンターを安全に移設するためのサーバーの更新費用  
等による一時的な要因も収益性に影響いたしました。

<ご参考>

今後の見通し

当社主力事業の EDC については、確実にそのマーケットは形成されるつつあり、大手システム会社を  
始めこの分野に本格参入して参りました。当社 EDC が含まれる領域は CRO 業務におけるデータマネジメ  
ント・統計解析／症例登録・薬剤割付の分野に位置し、この領域が今後、電子化の波と共に EDC および  
それに付随するサービスに置き換わっていくものと予想しております。当社は先駆者としてのアドバン  
テージ、技術力、今後本数の増加に伴う量産化技術の確立から下期以降の収益回復につながるものと思  
えております。今後もライセンスアウト、提携企業との販売促進、およびソフト開発費用等の大幅な原  
価軽減を実現し、販売経路の拡大と商品競争力を一層強化してまいります。

また、新たな投資戦略を進め、あらゆる収益機会を獲得することによって、更なるグループ全体の発  
展を目指してまいります。

以 上

（ご注意）

本資料に記載した数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不特定な要  
素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。